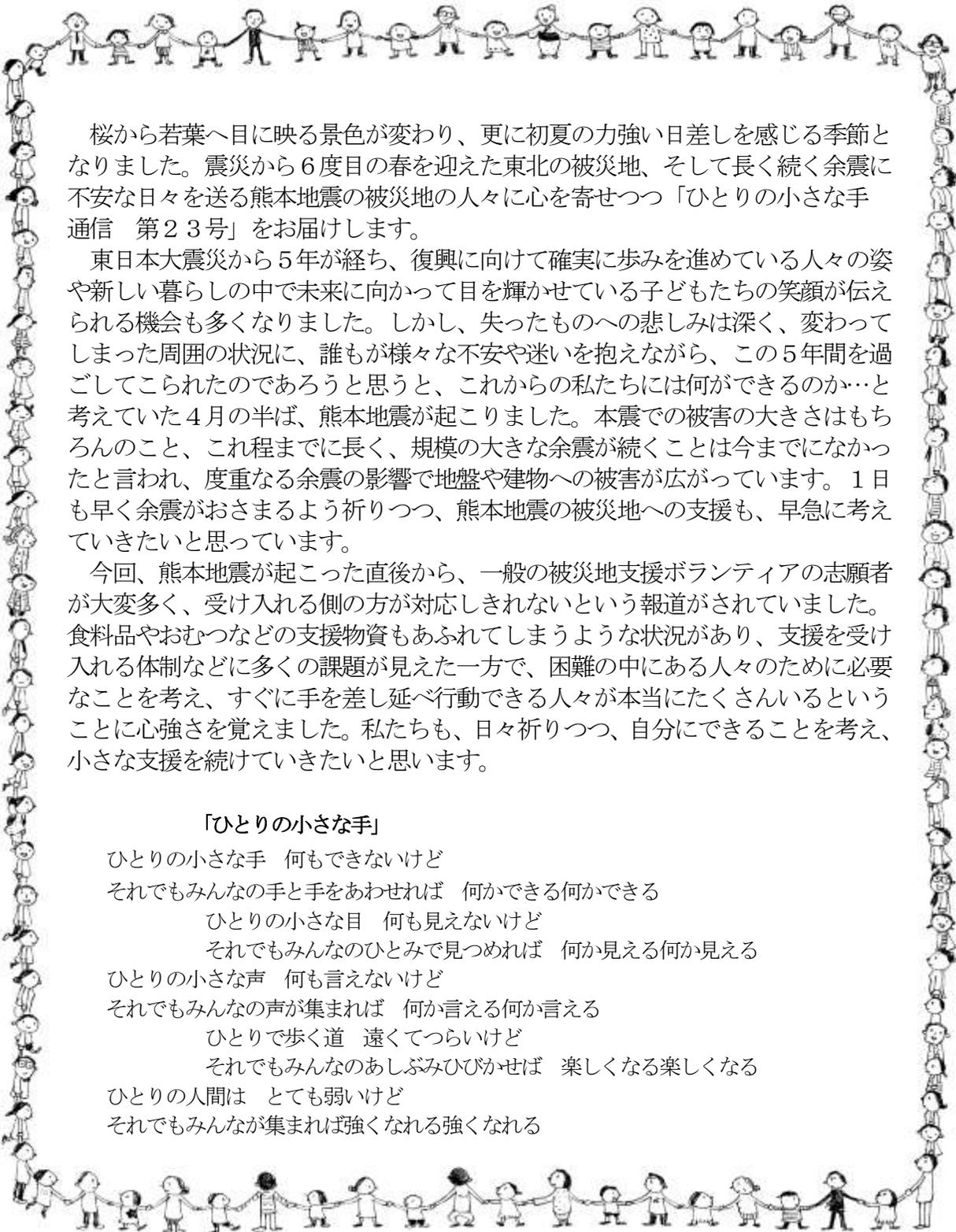


2016. 5. 19.



桜から若葉へ目に映る景色が変わり、更に初夏の力強い日差しを感じる季節となりました。震災から6度目の春を迎えた東北の被災地、そして長く続く余震に不安な日々を送る熊本地震の被災地の人々に心を寄せつつ「ひとりの小さな手通信 第23号」をお届けします。

東日本大震災から5年が経ち、復興に向けて確実に歩みを進めている人々の姿や新しい暮らしの中で未来に向かって目を輝かせている子どもたちの笑顔が伝えられる機会も多くなりました。しかし、失ったものへの悲しみは深く、変わってしまった周囲の状況に、誰もが様々な不安や迷いを抱えながら、この5年間を過ごしてこられたのであろうと思うと、これからの私たちには何ができるのか…と考えていた4月の半ば、熊本地震が起こりました。本震での被害の大きさはもちろんのこと、これ程までに長く、規模の大きな余震が続くことは今までになかったと言われ、度重なる余震の影響で地盤や建物への被害が広がっています。1日も早く余震がおさまるよう祈りつつ、熊本地震の被災地への支援も、早急に考えていきたいと思っています。

今回、熊本地震が起こった直後から、一般の被災地支援ボランティアの志願者が大変多く、受け入れる側の方が対応しきれないという報道がされていました。食料品やおむつなどの支援物資もあふれてしまうような状況があり、支援を受け入れる体制などに多くの課題が見えた一方で、困難の中にある人々のために必要なことを考え、すぐに手を差し延べ行動できる人々が本当にたくさんいるということに心強さを覚えました。私たちも、日々祈りつつ、自分にできることを考え、小さな支援を続けていきたいと思えます。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど

それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる

ひとりの小さな目 何も見えないけど

それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える

ひとりの小さな声 何も言えないけど

それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える

ひとりで歩く道 遠くてつらいけど

それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる

ひとりの人間は とても弱いけど

それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

◇活動報告

○2016年3月13日(日)

第14回 東日本大震災支援チャリティーコンサート開催

東日本大震災から5年が過ぎた3月13日(日)の午後、町田 謙介さん(ボーカル・ギター)、e l l i さん(ボーカル・ウクレレ)、伊藤 薫さん(パーカッション)を迎え、第14回東日本大震災支援チャリティーコンサート「春のバトン」が開かれました。



優しくやわらかいウクレレの響きと歌声に心癒されるひと時を過ごし、多くの方々と共に被災地に心を寄せて祈りを捧げられましたことに心より感謝いたします。

また、手作りの手芸品やケーキのバザーも皆さんに喜んでいただくことができました。

チケット代	50,500円	義援金	9,715円
手作り品バザー	31,350円	ケーキバザー	34,600円
イースターエッグ	65,500円		

出演者交通費など経費を除く、チケット代、義援金、バザー売上金は、次の通り、被災地へ送らせていただきました。

原町聖愛保育園・原町教会	60,000円
陸前高田ほっとカフェ	30,000円
鹿島栄光教会	20,000円
震災支援音楽プロジェクト	30,000円
南相馬ファクトリー	10,000円

たくさんの方々にご来場、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

熊本地震で被災された方を覚えて

○手作りマーマレード

広島から送っていただいた無農薬夏みかんを使ってマーマレードを作り、販売いたしました。マーマレード作りを手伝ってくださった方々にも感謝いたします。

マーマレードバザー
58,500円



○教会手作りケーキバザー

去る5月11日、熊本地震で被災した方々への支援の思いを届けるため、ケーキバザーを行いました。パウンドケーキ、チョコレートケーキ、アップルパイ、クッキーなど様々な手作りスイーツとデコパージュの石けんを販売しましたが、幼稚園の保護者の皆さんに大好評で、あっという間に完売となりました。ご協力ありがとうございました。

クッキー・ケーキバザー 38,000円 石けん 4,500円

義援金 16,515円 また、マーマレードバザーの売り上げと合わせ、熊本地震被災地支援としてキリスト教保育連盟に100,000円を送らせていただきました。

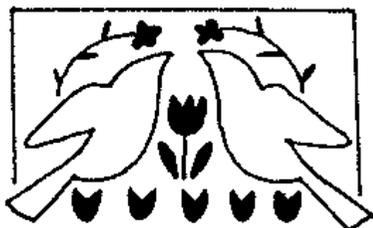
◇お顔の見える支援を続けています

原町教会&原町聖愛こども園（福島県 南相馬）

南相馬にある原町教会、そして原町聖愛子ども園。（4月から保育園からこども園に変わりました）今までに園長は2回ほどお見舞いに伺いましたが、原発、放射能の問題はまだまだ大変で、そのとらえ方はそれぞれだそうです。会ったことはなくても、みんなお友だちです。

陸前高田の方々 ほっとカフェ

本園のランチ調理員の方の友人 佐藤文子さんは、臨床心理学博士、アートセラピストです。陸前高田の状況を知り、足腰の立つうちは現場で働きたいという思いで陸前高田市教育委員会で、被災された方のカウンセリングをされており、現在、東北大学災害科学国際研究メディカルメガバンク気候の研究者として過ごされる中で、陸前高田で月1回行かれています。被災された方が少しでも心を開いてくださるようにと開かれたカフェで活動では、皆さんにお出しするお菓子が手作りだと、気持ちが温かくなるとお聞きし、手作りのケーキやクッキーなどを送っています。



南相馬ファクトリー

南相馬ファクトリーは「つながり∞（むげん）ふくしま」という 東日本大震災の復興プロジェクトのひとつとしてスタートし、震災で壊滅的な状況に陥っていた福島県太平洋沿岸の地域（浜通り地方）の福祉作業所に仕事をつくり、工賃収入を安定させることを大きな目的としてつくられました。現在、ボールペンが置いてありますので、ぜひ、ご協力ください。

震災支援音楽プロジェクト

コカリナ奏者黒坂黒太郎さんは音楽を通して被災地へ支援されています。

「奇跡の一本松」の枝をいただいてコカリナを作り、そこで演奏されたとお聞きしています。また、陸前高田の全小学生と教職員に高田松原コカリナを送ったそうです。

コカリナつながりです。

直接、お会いしたり、手渡しできたりする支援先を中心に、私たちのできることを続けていきたいと考えています。

